

## 令和5年度の取組

令和5年6月

南 城 市

## 1 今年度の取組概要(案)

- 令和5年6月1日より、65歳以上または障がい者手帳をお持ちの市民を対象にNバスの運賃を無料とするNバス運賃支援事業を実施しています。
- 公共交通の利用を促すため、利用促進イベントの実施、公共交通便りの発行等を過年度から継続して実施します。
- Nバスの導入、コロナ禍により役割や利用状況が変化してきている「おでかけなんじい」の運行見直し基準を再検討します。
- 2024年夏に開業が予定されている大型商業施設にあわせた路線バス、Nバスの見直し案を検討します。
- さらには、今年度は南城市地域公共交通網形成計画の中間評価年度となっており、評価のための市民アンケート及び観光客アンケートを実施します。

表 1.今年度の取組概要(案)

区分	取組名	概要
公共交通 利用促進策の 実施	Nバス運賃支援事業	市民を対象に65歳以上及び障がい者については、Nバスの無償化を実施し、利用状況を分析する
	Nバスを活用した修学旅行周遊実証事業	修学旅行を対象に、市内での民泊とNバスでの周遊を組み合わせた実証事業の実施を検討
	利用促進イベントの実施	Nバスの周年イベント、クリスマス、バレンタイン等の行事にあわせたイベントを実施予定
	公共交通便りの発行	夏、冬の2回、公共交通の利用促進を図るため、公共交通便りを発行。
公共交通の 改善策の検討	おでかけなんじいの運行見直し基準の再検討	平成27年度・28年度に設定されたおでかけなんじいの減便・運行取り止め・増便の基準を現在の利用状況等を踏まえ見直し
	おでかけなんじいの運賃見直しの検討	路線バス、タクシーとのバランスを考慮した運賃の見直しを検討
	大型商業施設開業に向けたNバス等の運行について検討	令和6年度夏に予定されている大型商業施設開業に伴う渋滞回避に向けたNバス等の運行について検討
網計画の 中間評価の 実施	市民アンケート	公共交通の満足度や公共交通の利用状況など網計画の中間評価のための市民の評価を把握
	観光客アンケート	観光での公共交通の利用状況など網計画の中間評価のための実態を把握

## 2 公共交通利用促進策の実施

### 2.1 Nバス運賃支援事業

- 65歳以上及び障がい者の市民の方の外出支援や健康増進、高齢運転者の「卒マイカー」を促進するため、Nバス運賃支援事業により市がNバスの運賃を補填することで、実質無償化とします。
- Nバス運賃支援事業を適用するにあたっては、事前に生きがい推進課への申請と、沖縄バス南城市役所出張所でのOKICAの購入が必要となります。
- 実施期間は令和5年6月1日から令和8年3月31日の2年10か月間です。
- なお、申請者には、Nバスの利用状況や、事業による変化等を把握するアンケートを実施する予定です。

表 2.Nバス運賃支援事業の概要

項目	内容
対象者	南城市在住の65歳以上の方 または 障がい手帳をお持ちの方
実施期間	令和5年6月1日～令和8年3月31日
運賃	無料（市が補填）
申し込み	①南城市役所生きがい推進課に申請 ②沖縄バス南城市役所出張所でのOKICAの購入 （すでにOKICAを持っている場合でも更新が必要）
利用方法	Nバス降車時に、OKICAを車載機にタッチ。



図-1.Nバス運賃支援事業の案内(広報なんじょう5月号)

## 2.2 Nバスを活用した修学旅行周遊実証事業

- 修学旅行の日中のコンテンツの造成、Nバスの利用促進を図るため、民泊とセットになったNバスでの周遊事業の実施を検討します。



## 2.3 利用促進イベントの実施

- Nバスの利用促進を図るため、公共交通アテンダント「Nバス娘」と連携し、ハロウィンやバレンタインデーなど季節に応じたイベント実施します。

## 2.4 公共交通便りの発行

- 公共交通の利用促進を図るため、夏期と冬期の年2回、公共交通便りを発行し、全世帯に配布します。
- なお、令和4年度は令和5年4月からのNバス見直しを主なテーマに、3月に1回、通常とは倍のA3サイズで発行しています。

# 南城市公共交通だより

市内で公共交通(Nバス・おでかけなんじい)を利用する方が増えてきています。

## SDGsの実現に寄与する路線バスがピンチです

路線バスをはじめとする公共交通のSDGsへの寄与

**3 気候変動**

マイカー通勤から徒歩や自転車、公共交通通勤に切り替えることで、温室効果ガス削減に寄与します。SDGsの目標13「気候変動に具体的な対策を」に寄与します。

**11 持続可能な都市とコミュニティ**

公共交通は、すべての人に安全かつ快適で利用可能な移動手段であり、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」に寄与します。

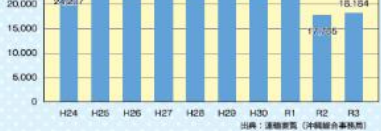
**13 気候変動**

バスはマイカーに比べ、一人当たりCO2排出量が少なく、SDGsの目標13「気候変動に具体的な対策を」に寄与します。

沖縄本島の路線バス利用者は、過去10年、概ねいびで推移してきていますが、新型コロナウイルス感染症の流行により、令和2年度は17,785千人、令和3年度は18,184千人と令和1年度の26,034千人から約3割減となっています。さらに、路線バスでは運転手不足も大きな問題となっており、南城市内においても令和5年2月20日に4系統で早8時、休日10時以降減便となっています。

路線バスは、南城市と市外を結ぶ唯一の公共交通であり、高校生や大学生の通学、高齢者の買い物、通院等に必要の移動手段です。路線バスを次の世代に残していくためにも、お試しに路線バスを利用してみてはいかがでしょうか。

(千人/年)



出典：運輸省(沖縄県分限別)

マイカーを利用できない高齢者などの移動手段をみながら変え、守っていくために、1年に1回でも公共交通を利用して、持続可能なまちづくりを支えていきましょう。

参照：沖縄総合運輸課南城市「SDGsの実現に向けた公共交通の利用促進」

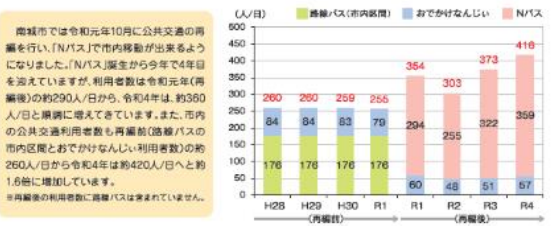
## 新型コロナウイルス感染症への対応について

市では、コロナ禍においてNバスやおでかけなんじいをご利用頂くように様々な感染対策を実施しております。どうぞ安心して市内公共交通をご利用下さい。

感染拡大を防止するためにご協力をお願いします。

- 乗降時マスク着用をお願いします。
- 乗降を控えるようお願いします。
- なるべく前後座を空けてください。
- アルコール消毒液の備えをお願いします。

発行：南城市企画部政策課



## Nバスでうりずんを楽しんでみませんか

平均気温が20度前後と、年間でも過ごしやすい「うりずん」を迎えます。おでかけに最適な市内に最適なNバスをご利用ください。

Nバスで南城市の魅力を発見しませんか?

Nバス線のホームページで、「Nバス旅」を紹介しています。

南城市の観光ポータルサイト「らしいね 南城市」には、Nバスを利用したモデルコースが設定されています。

図-2.公共交通だより 11号おもて面(令和5年3月発行)

## 令和5年4月1日より、Nバスがさらに便利に使いやすくなります。

### ルート変更 向陽高校への通学がより便利に!

C1 C2 D2 F3 堀川区と、向陽高校最寄り「向陽高校前」バス停を経由します。

**変更前**

●「向陽高校入口」「長毛」は廃止

●「堀川」「堀川橋」「向陽高校前」を新設

**変更後**

●「向陽高校入口」「長毛」は廃止

●「向陽高校前」を新設

G 終点が「向陽高校入口」から「向陽高校前」バス停に変更となります。

**変更前**

●「向陽高校入口」「長毛」は廃止

●「向陽高校前」を新設

**変更後**

●「向陽高校入口」「長毛」は廃止

●「向陽高校前」を新設

### ダイヤ変更 乗り継ぎなどの利便性向上のための変更です。

※B1第1便は「東つきしろ」バス停発、その他は「南城市役所」バス停発の時刻となります。

系統	1便	2便	10便	1便	9便	10便	2便	3便	1便
A1	6:25	7:30	19:10	7:01	19:20	20:30	10:15	12:00	6:28
A2	6:10	7:13	19:17	7:04	19:35	20:35	10:08	12:05	6:30

新しい路線図・時刻表を掲載した南城市「スマップ」は3月下旬より、バス案内カウンター(南城市役所1階カフェなど)またはNバス車内で無料配布いたします。Nバス公式ホームページ(QRコード)でもご覧いただけます。

### Nバスの各路線の概要

Nバスの各路線の概要	起終点と主な経由地	備考
A1 佐敷-知念-佐敷線	南城市役所→佐敷→青嶺寺入口→百舟→観音寺→南城市役所	D2の反対回り
A2 佐敷-知念-佐敷線	南城市役所→観音寺→百舟→青嶺寺入口→佐敷→南城市役所	A1の反対回り
B1 佐敷-ニライカナイ橋-つきしろ線	南城市役所→佐敷→青嶺寺橋→東つきしろ→観音寺→南城市役所	D2の反対回り
B2 つきしろ-ニライカナイ橋-佐敷線	南城市役所→観音寺→東つきしろ→青嶺寺橋→佐敷→南城市役所	B1の反対回り
B3 つきしろ線	南城市役所→観音寺→東つきしろ→観音寺→南城市役所	平日のみ
C1 玉城-大里線	南城市役所→赤敷→奥武島→玉泉前→一件→南城市役所	C2の反対回り
C2 大里-玉城線	南城市役所→一件→玉泉前→奥武島→赤敷→南城市役所	C1の反対回り
D1 玉城東回り線	南城市役所→観音寺→百舟→奥武島→玉城小学校前→南城市役所	平日のみ
D2 玉城東回り線(向陽高校経由)	南城市役所→玉城小学校前→向陽高校前→百舟→南城市役所	平日のみ
E1 玉城西回り線	南城市役所→船越→玉城小学校前→南城市役所	平日のみ
F1 玉城西回り線(玉城子ども園経由)	善良原→船越→玉城小学校前→玉城子ども園→南城市役所	平日のみ
F2 玉城-南城(玉泉前経由)	南城市役所→赤敷→玉泉前→奥武島→百舟→南城市役所	平日のみ
G 向陽高校線(大里経由)	南城市役所→真境名→古堅→一件→船越→玉泉前→向陽高校前	平日のみ

図-3.公共交通だより 11号なか面(令和5年3月発行)

### 3 公共交通の改善策の検討

#### 3.1 おでかけなんじいの運行見直し基準の再検討

- 平成 27 年度、平成 28 年度において、「おでかけなんじい」の当時の利用状況を踏まえ、減便、運行取り止め、増便の基準が設定されました。
- その後、令和 1 年 10 月の公共交通再編における N バスの誕生により、「おでかけなんじい」の役割は、N バスを補完する公共交通へと変化しています。
- また、再編に伴い利用者数が 80 人/日前後から 60 人/日前後に減少、令和 2 年以降はコロナ禍により利用者が減少するなど利用状況も変化してきています。
- 令和 2 年度以降はコロナ禍を考慮し、運行見直し基準は適用してきませんでした。コロナ禍による影響も薄れてきており、今後は運行見直し基準を適用していくことが考えられます。このため、上記の変化を踏まえた実態にあった基準を今年度検討し、令和 6 年度から新たな運行見直し基準の周知、適用を行いたいと考えています。

表 3.現在のおでかけなんじいの運行見直し基準

項目	基準
減便	2.0 人/台未満
運行取り止め	0.5 人/台未満
増便	3.5 人/台以上

※運行エリアが広いいため 1 便/h のみの運行は行わない

#### 3.2 おでかけなんじいの運賃見直しの検討

- おでかけなんじいは平成 27 年 1 月から 300 円で有償化に移行し、令和 1 年 10 月からは、75 歳以上は 200 円、75 歳未満は 500 円の運賃となっています。一方、タクシー初乗り運賃は、令和 5 年度改定予定も含め、3 回引き上げられ、600 円の予定となっております。
- 有償化当初よりも、タクシーに比べおでかけなんじいの運賃が割安となっており、また、おでかけなんじいの収支の改善を図るため、運賃見直しを検討します。

表 4.タクシー初乗り運賃値上げ状況

値上げ時期	改定内容(初乗り運賃)	値上げ幅	備考
2016.11	500 円→550 円	50 円	
2019.10	550 円→560 円	10 円	・消費増税に伴う値上げ
2023.10 頃	560 円→600 円	40 円	・燃料費・車の部品価格の高騰、乗員不足に伴う稼働率低下による経営環境の悪化のため ・改定内容は各事業者による

### 3.3 大型商業施設開業に伴う渋滞回避に向けたNバス等運行について検討

●つきしろ地区において令和6年度夏に大型商業施設の開業が予定されており、周辺の渋滞緩和策とあわせて、渋滞回避に向けたNバス等の運行について検討します。



図-4.大型商業施設の出店予定箇所

## 4 網計画の中間評価

### 4.1 市民アンケートの実施

- 網形成計画の中間評価を行うため、市民アンケートを実施します。
- 今回は中間評価であり、3年後の令和8年度には最終評価のための調査をあらためて実施することから、今回はWEBアンケートで簡便的に実施します。（計画策定時は、行政区長を通じた配布回収で2,018票回収）

表 5.市民アンケートの概要

項目	内容
調査対象	15歳以上の南城市民
調査方法	WEBアンケートによる調査実施 WEBアンケートのURLは、南城市公共交通だより第12号及び同時期に発行される広報南城での掲載を想定
把握項目	<ul style="list-style-type: none"><li>● 属性（年代、居住地、運転免許証の有無等）</li><li>● 公共交通の利用状況（交通手段別の利用頻度、主な利用目的等）</li><li>● 公共交通に対する評価（路線バスのルート、路線のわかりやすさ、路線バスの運行頻度、路線バスの運賃、バス停の整備状況）※中間評価の評価項目</li><li>● 公共交通に対する要望等（自由意見）</li></ul>

### 4.2 観光客アンケートの実施

- 市民アンケート同様に網形成計画の中間評価を行うため、観光客アンケートを実施します。
- 観光客アンケートも中間評価のためであることから、調査箇所を2箇所（おきなわワールド玉泉洞、がんじゅう駅南城・南城市地域物産館）で実施する。（計画策定時は5箇所を実施）

表 6.観光客アンケートの概要

項目	内容
調査対象	南城市を訪れる市外からの観光客（県民含む）
調査箇所	おきなわワールド及びがんじゅう駅南城・南城市地域物産館の2箇所
調査方法	調査箇所を訪れた観光客に対し、調査員が協力依頼を行い、協力を得られた方にその場でアンケート調査票に記入してもらう方法で実施する。
把握項目	<ul style="list-style-type: none"><li>● 属性（年代、居住地、運転免許証の有無、グループ類型、沖縄県来訪回数、南城市来訪回数、沖縄県滞在日数、南城市滞在日数、沖縄旅行の形態）</li><li>● 南城市への来訪手段 ※中間評価の評価項目</li><li>● 南城市内での立ち寄り先</li><li>● 南城市までのアクセスに関する要望</li><li>● 南城市内での移動に関する要望</li></ul>



～ 参考：前回中間評価における実施状況の評価 ～

施策	目標	中間評価
施策 1-1 中核地でのバスターミナルの整備	暫定実施	○：暫定実施 2019年度に南城市役所バス停が整備
施策 1-2 市外への幹線バスの運行及び既存系統の見直し	暫定実施	○：実施 2019年10月に南城市役所バス停を拠点に再編実施
施策 2-1 市内の支線バスの運行	暫定実施	○：実施 2019年10月に支線バスを導入
施策 2-2 新たなバス路線網等に対応した乗り継ぎ施設の整備検討	検討	○：実施 2019年の再編時に市役所1階にバス出張所や乗り継ぎのための待合施設等を整備
施策 2-3 安座真船待合所への路線バスの乗り入れ	実施	○：実施 2019年10月の再編でNバスが乗り入れ
施策 2-4 幹線バスと支線バスのダイヤの連携	実施	○：実施 2019年10月の再編で通勤・通学時間にあわせたダイヤを設定
施策 3-1 おでかけなんじいの継続運行	実施	○：実施 2019年度の再編で位置づけの見直しを行いながら継続運行
施策 3-2 久高航路の継続運行	実施	○：実施 2019年度の再編でNバスとの接続性を高めて、継続運行
施策 3-3 公共駐車場でのパーク&バスライドの実施	検討	○：検討中 公共駐車場での実施を検討中 ※3月1日～駐車場は有料化
施策 3-4 送迎用乗降場の整備検討	検討	○：検討中 現状では市役所正面駐車場が送迎に利用されている。
施策 3-5 駐輪場の整備検討	検討	○：実施 市役所敷地内に整備
施策 3-6 高齢者向け定期券の導入	検討	○：実施 Nバスの回数券を格安で販売することで対応（一般の定期券を上回る割引）
施策 3-7 学生向け定期券の導入	検討	○：実施 Nバスの回数券を格安で販売することで対応（一般の定期券を上回る割引）
施策 3-8 乗り継ぎ割引の導入検討	検討	○：実施 2019年度の再編で、乗り継ぎ割引も考慮したNバスの均一料金を導入

～ 参考：前回中間評価における目標値の達成状況の評価 ～

基本方針	指標	現況値	目標値	達成状況
①中核地を中心に市外へスムーズに移動できる公共交通網を形成する。	バスターミナルの数	3箇所	1箇所 〔中核地に集約〕	△ 市役所バス停に集約
	中核地から市外への運行系統数	0系統	3系統 〔那覇、与那原、八重瀬方面を想定〕	○ 8系統運行
	路線バスのルート満足度	2.9点/5.0点	4.0点/5.0点 〔再編により、やや満足（4点）まで向上〕	× 2.5点
②中核地等での乗り継ぎによりスムーズに市内を移動できる公共交通網を形成する。	中核地とまちの拠点を結ぶ運行系統数	0系統	4系統 〔佐敷、知念、玉城、大里方面と連絡〕	○ A1～Hの15系統のNバスを運行
	路線バスの運行頻度の満足度	2.0点/5.0点	3.0点/5.0点 〔10年間で5点満点の中間値〕	× 2.1点
③誰でも気軽に利用できる身近な移動手段を確保する。	デマンドバス登録者数	4,000人	8,800人 〔10年間で4,800人増加、創生戦略に準拠〕	目標として削除予定
	パーク＆バスライド用駐車場の整備	0箇所	1箇所 〔中核地を想定〕	2023、2026年に評価
	路線バスの運賃の満足度	2.4点/5.0点	3.0点/5.0点 〔10年間で5点満点の中間値〕	× 2.6点
	公共交通の分担率	1.6%	3.2% 〔10年間で倍増〕	○ 5.8%
④再編による効果が高めるため、公共交通の利用環境を充実する	路線のわかりやすさの満足度	2.8点/5.0点	4.0点/5.0点 〔再編により、やや満足（4点）まで向上〕	× 幹線バス：2.8点 Nバス：2.6点
	バス停の整備状況の満足度	2.8点/5.0点	3.0点/5.0点 〔10年間で5点満点の中間値〕	× 2.8点
⑤南都市の活性化に向け、人の流れを活発にする	観光客の路線バスの分担率	2.0%	4.0% 〔5年間で倍増〕	○ 2.4%
	需要喚起に向けたイベント実施	0件	1件 〔10年間で毎年実施するイベントづくり〕	2026